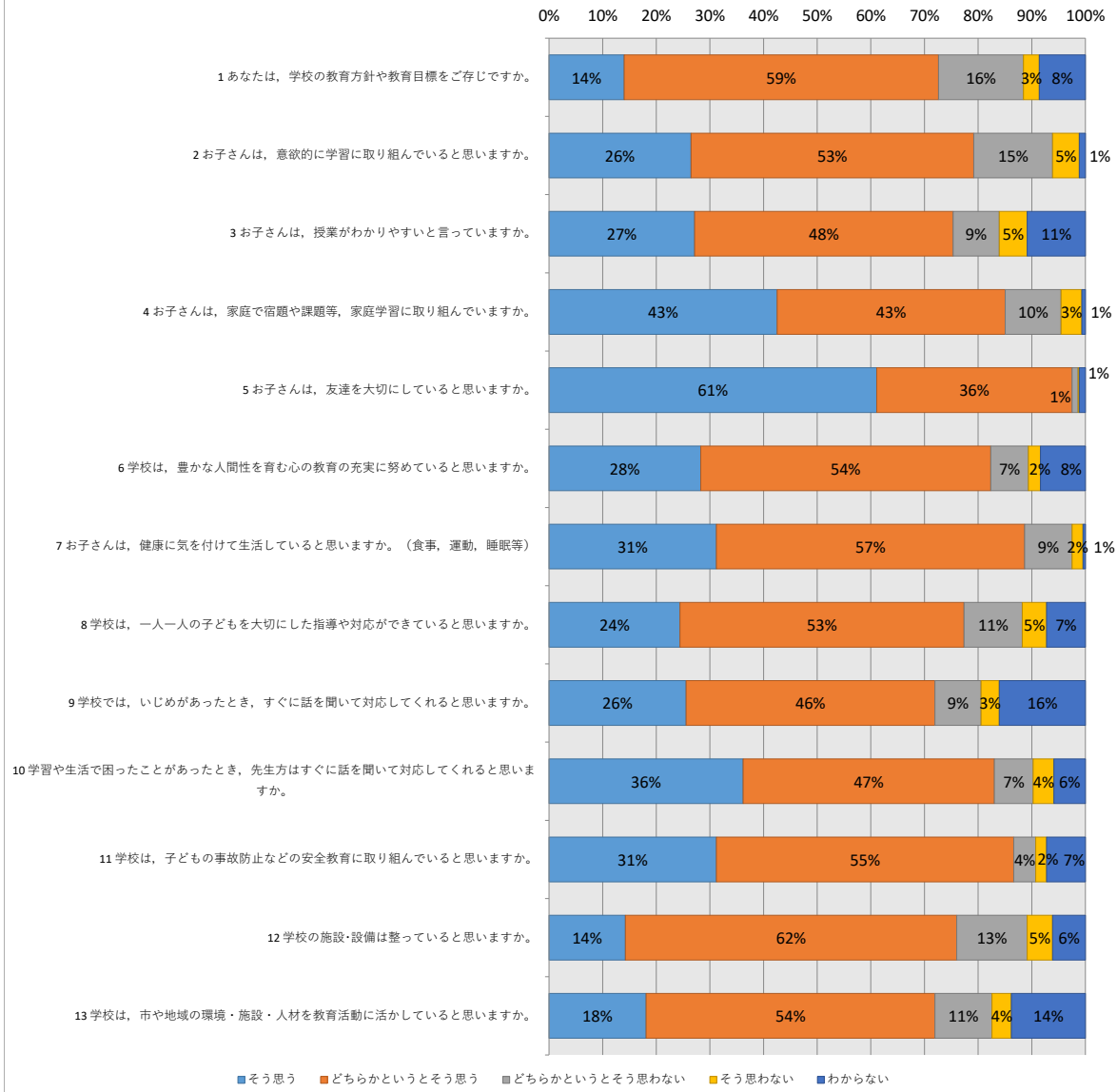


【保護者対象】教育活動についてのアンケート



【考察】

今年度も「豊かな心」に関する項目のQ5「友達への思いやり」が98%（±0pp）と全体で最も高い評価となりました。学校は同世代の人と共に学んでいく場です。そこでの友人関係の構築は、保護者の方も重要な部分とお考えだと思います。学校では今後も、道徳や心の教育の充実を図り、子供たちの豊かな人間性を育てていきます。Q7「健康」に関する項目も89%（-2pp）と高く、健康面への関心の高さが感じられました。毎日水分補給のための水筒を持たせてくださったり、時期によっては感染予防のためのマスクをさせてくださったりとありがたいです。Q11の「安全と事故防止」に関する項目も87%（+2）となり、定期的に行われる各種避難訓練や保護者と地域の方の協力による登下校指導の成果だと考えております。また、昨年度と比べ最も割合が高くなった項目は、Q13「家庭や地域との連携協力」72%（+10pp）でした。どの学年も、保護者や地域の方に学校にいらしていただき、充実した学習活動を行うことができました。市所有のバスで、学習に関する施設にも多く出かけ、現場学習をすることができました。Q2の「お子さんの学習に対する意欲的な態度」79%（+5pp）にもつながったと考えます。

いじめや不登校などに対する相談支援体制の充実についての項目は、Q8「一人一人の児童の理解と尊重」77%（-3pp）、Q9「いじめ問題への対応」72%（±0pp）、Q10「学校の支援体制」83%（-6pp）といずれも低く、学校としては課題になります。この項目は、児童への調査結果でも低く、お子さんの声がそのまま保護者の意見に反映されています。さらに、教員自身も「一人一人を大切にしたい指導や対応が満足にできていない」と感じていました。まずは、教員が子供と向き合う時間を十分に確保するために、校内の教育相談の体制の見直しやスクールカウンセラーの積極的な活用を図っていきます。また、引き続き縦割り活動や行事等で多くの職員が目で見守ってまいります。今後とも保護者や地域の方には協力を仰ぎながら、お子さんが安心して楽しく学校生活を送れるように努めていきたいと思っております。

ここ数年の児童数は、高止まりで多い現状です。人数が多くなれば、今までできていたことが、形を変えたり、できなくなったりすることが出てくるかと思われます。今後、可能な限りご家庭や地域の方々の参加や協力を得て教育活動を充実させていきます。ご意見やご感想の欄では、貴重なご意見や、嬉しい励ましのお言葉をいただきました。今後も学校ホームページ等を活用し、保護者の皆様にお伝えしてまいります。

※（前年度比〔pp：パーセントポイント〕）